

HEAPアナリティクスでWebhookを使用する方法

概要

Webhook（別名コールバック）を使用すると、サードパーティーのAPIをトリガーしたりWalkMeイベントデータを分析プラットフォームに追加したりできます。Webhookは、例えばShoutOutが表示されるなど、指定されたWalkMeイベントによってトリガーされます。WebhookはWalkMeと選択したサードパーティーのプラットフォームを統合します。

この記事ではHEAPアナリティクス向けのWebhookを定義する方法について説明します。

HEAPの追跡イベントのプロパティや動作をより深く理解するには、以下のAPIドキュメントと説明セクションをご覧ください。

HEAPアナリティクスに追跡イベントのWebhookを使用する手順

ステップ1：アカウントを開くかHEAPにログインする

- ウェブサイトのアドレスは、<https://heapanalytics.com>です。

ステップ2 JavaScriptのスニペットをコピーする（初めてHEAPを使用する場合のみ必要）

以前HEAPを使用したことがある場合は、次のステップ3に進みます。そうでない場合は、以下の手順に従ってください。

- イベントをトリガーするウェブサイトのHTMLで、スニペットを使用します（</head>閉じタグの前に表示させます）。
- 続行するには、イベントをトリガーする必要があります。

Welcome to Heap!

1. **Install Heap.** Follow the web or iOS instructions below or ask a colleague to help. If you're using a third-party platform (Wordpress, Squarespace, etc) there are instructions [here](#).
2. **Wait for data from your site.** The dashboard will open up shortly after your first users interact with your site. We'll send you an email when it's ready.
3. **Still no data?** Make sure you installed Heap correctly. Here are some [common things to check](#). Feel free to send us an email at support@heapanalytics.com if you're still running into trouble.

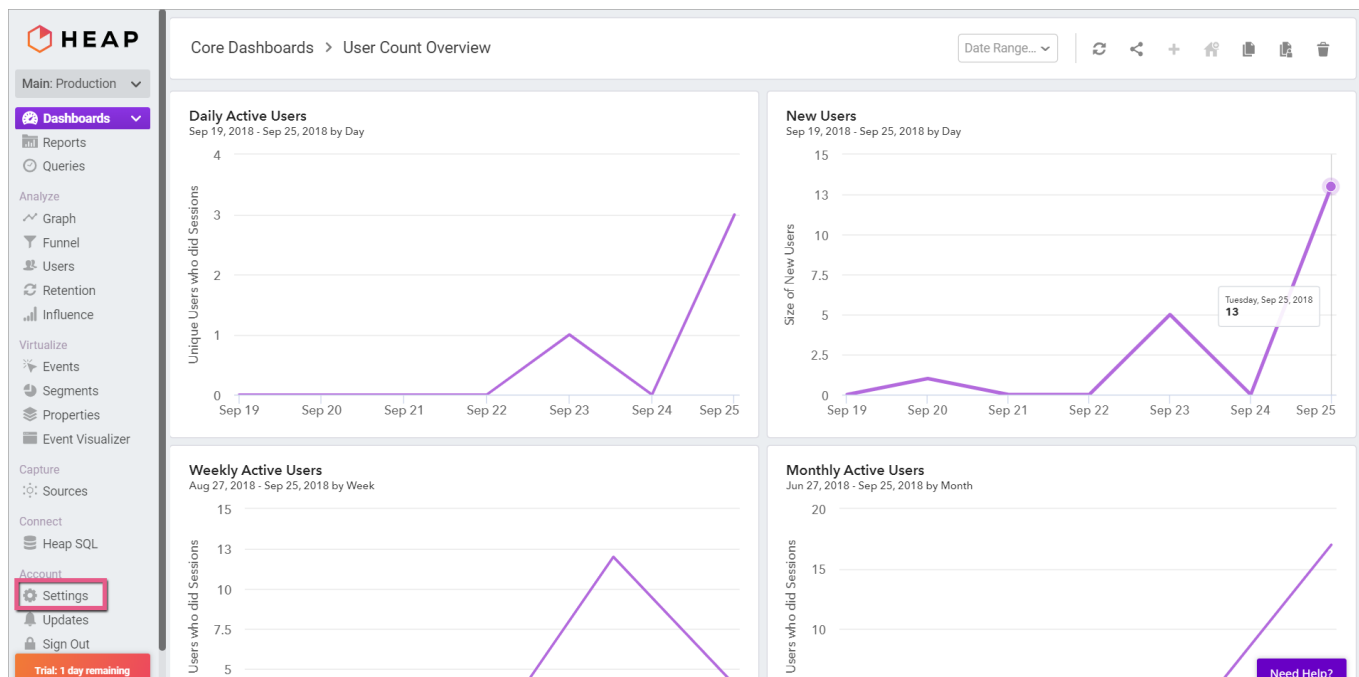
These directions assume you're sending data from a **production** environment. To send data from a development environment instead, [click here](#).

[Web](#)[iOS](#)[Android](#)[Ask a colleague to install on web](#)

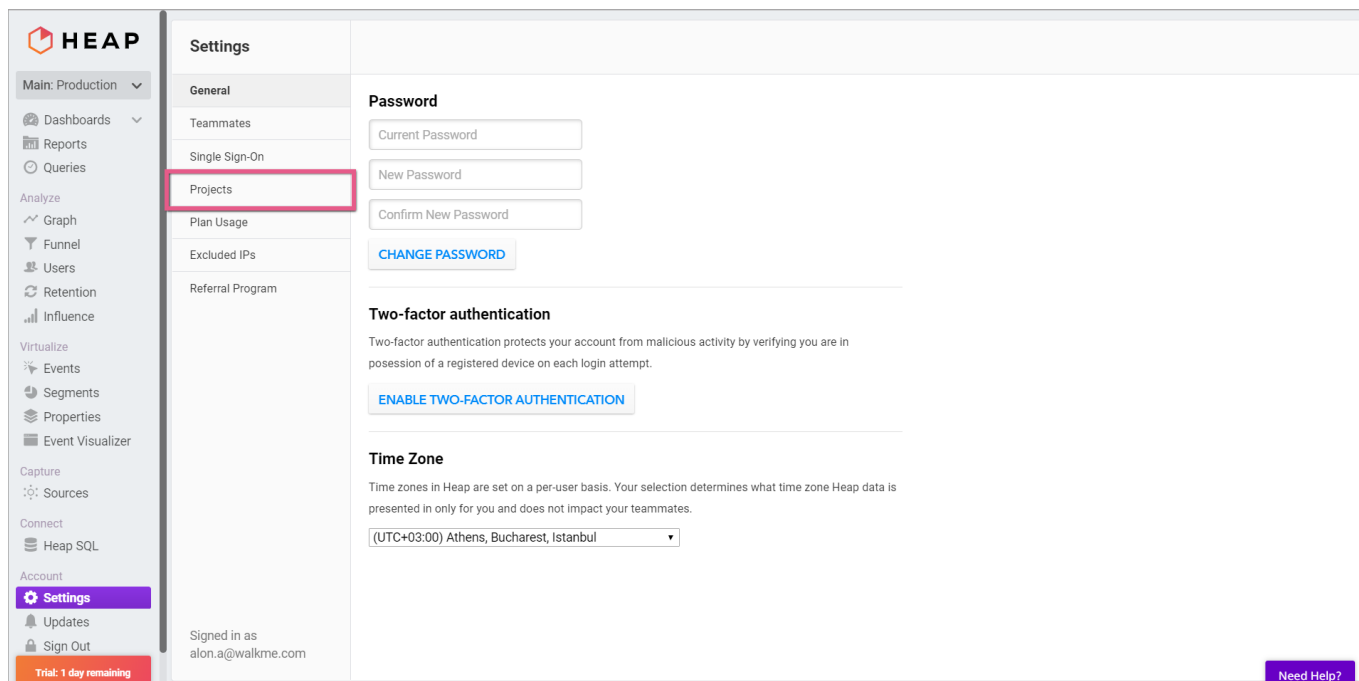
Just paste the following snippet before the closing `</head>` tag on each page of your site.

```
<script type="text/javascript">  
window.heap=window.heap||[],heap.load=function(e,t){window.heap.appid=e,  
heap.load("■ ■ ■ ■");  
</script>
```

ステップ3 : [*Settings* (設定)] をクリックする



ステップ4：[Projects (プロジェクト)] をクリックする



Settings

General

Teamates

Single Sign-On

Projects (highlighted in red box)

Plan Usage

Excluded IPs

Referral Program

Password

Current Password

New Password

Confirm New Password

CHANGE PASSWORD

Two-factor authentication

Two-factor authentication protects your account from malicious activity by verifying you are in possession of a registered device on each login attempt.

ENABLE TWO-FACTOR AUTHENTICATION

Time Zone

Time zones in Heap are set on a per-user basis. Your selection determines what time zone Heap data is presented in only for you and does not impact your teammates.

(UTC+03:00) Athens, Bucharest, Istanbul

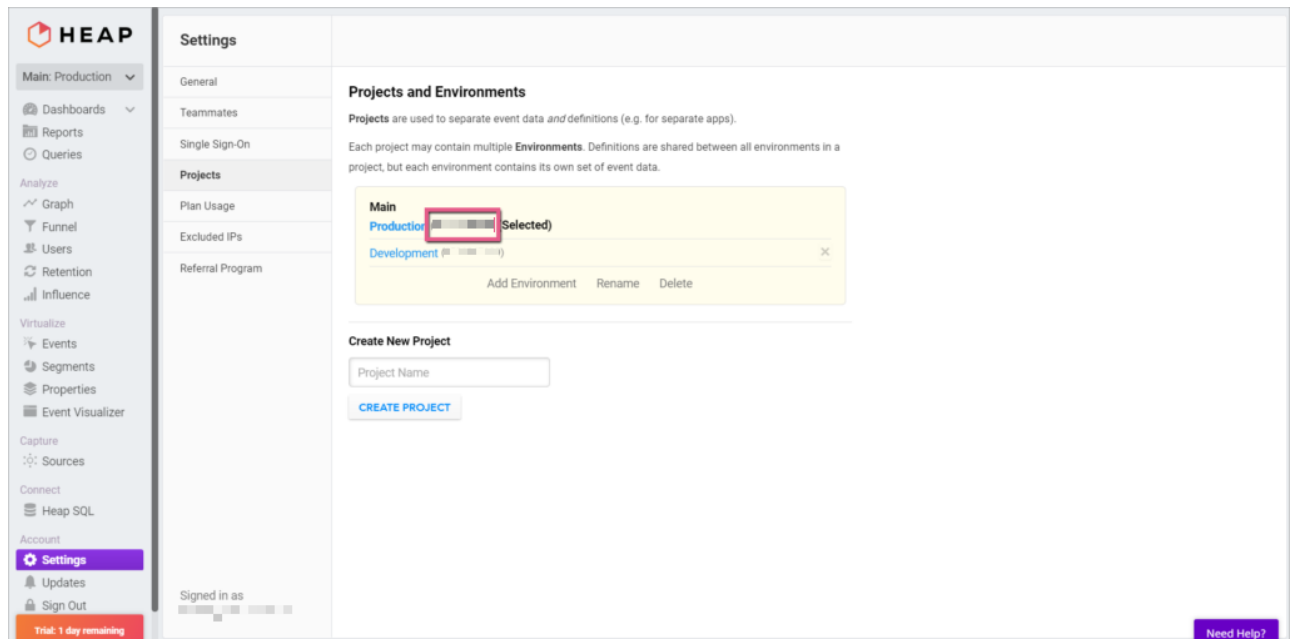
Signed in as alon.a@walkme.com

Trial: 1 day remaining

Need Help?

ステップ5：プロジェクトの環境IDをコピーする

- このIDは、ウェブページのスニペットで使用し、イベントをこの特定のプロジェクトに結び付けるためにInsightsでも使用します。



ステップ6「[Webhookの設定方法](#)」の記事を確認する

- [Webhookを使用してWalkMeイベントデータをサードパーティースystemに送信する方法](#)」の記事に記載されている手順をご確認ください。
- 以下の手順は、HEAPアナリティクス用のWebhookを設定するためのものです。

ステップ7：ウィザードを使用してInsightsでWebhookをセットアップする

ウィザードステップ1：イベントを定義する

必要なプロパティ

- Heapに送信される追跡イベントには、次の必須プロパティが必要です。
 - **app_id** — ステップ5で取得
 - **identity** — 既存のユーザーに対応するID
 - **event** — イベントの名前

ステップ

1. HEAPに送信するイベントを選択します。
 - この例では、達成されるSmart Walk-ThruのGoal（ゴール）に関するデータをイベントとしてHEAPに送信していますが、ほかの任意のイベントでも同様に行うことができます。

Edit Webhook

×

Esc

1

Select Event

2

Select Destination

Event

🔗 Walk-Thru Goal Reached

▼

Conditions

Walk-Thru ID

▼

equal to

▼

12345

And

▼

×

+

ADD CONDITION

Advanced >

CONTINUE >

2. [Advanced (詳細)] をクリックして、プロパティのリストを開きます。
3. イベントのすべてのプロパティのチェックを外します。
4. wm.euidのボックスにチェックを入れ、名前を「identity」に変更します。
5. [ADD PROPERTY (プロパティの追加)] をクリックして名前を「app_id」にし、その値を上記の **ステップ5** でコピーした環境IDに設定します。
6. [ADD PROPERTY (プロパティの追加)] をクリックして名前を「event」にし、その値を上記の **ウィザードステップ1.1** で選択したイベント名に設定します。
 - これはHEAPアナリティクスプラットフォームで表示されるイベント名になります。

ウィザードステップ2：接続先を設定する

ステップ

1. 接続先プラットフォーム名を入力します。この名前は、接続先のシステム（ここではHEAPアナリティクス）を識別します。

1

Select Event

2

Select Destination

Destination Platform Name

Heap Analytics

Request Type

POST

Destination URL

https://heapanalytics.com/api/track

Authorization Type

No Auth

Headers

Content-Type : application/json

< BACK

TEST

SAVE

2. リクエストタイプを「POST」

1

Select Event

✓

2

Select Destination

Destination Platform Name

Heap Analytics

Request Type

POST

Destination URL

https://heapanalytics.com/api/track

Authorization Type

No Auth

Headers

Content-Type

:

application/json

< BACK

TEST

SAVE

] に設定します。

- 接続先のURL[<https://heapanalytics.com/api/track>] を入力します。

1

Select Event

2

Select Destination

Destination Platform Name

Heap Analytics

Request Type

POST

Destination URL

https://heapanalytics.com/api/track

Authorization Type

No Auth

Headers

Content-Type

:

application/json

< BACK

TEST

SAVE

4. ヘッダーのコンテンツタイプ「application/json」を追加します。

1

Select Event

2

Select Destination

Destination Platform Name

Heap Analytics

Request Type

POST

Destination URL

https://heapanalytics.com/api/track

Authorization Type

No Auth

Headers

Content-Type : application/json

BACK

TEST

SAVE

- [TEST (テスト)] をクリックします
 - これにより、ウィザードステップ1で定義したイベントが接続先のプラットフォームに送信され、接続が正常に行われたことが確認されます。
 - これは、生成されたデータをHEAPアナリティクス環境に送信するテストイベントです。
 - 「テストが正常に完了しました！」というメッセージが表示されるはずです。

1

Select Event

2

Select Destination

Destination Platform Name

Heap Analytics

Request Type

POST

Destination URL

https://heapanalytics.com/api/track

Authorization Type

No Auth

Headers

Content-Type

:

application/json

< BACK

✓

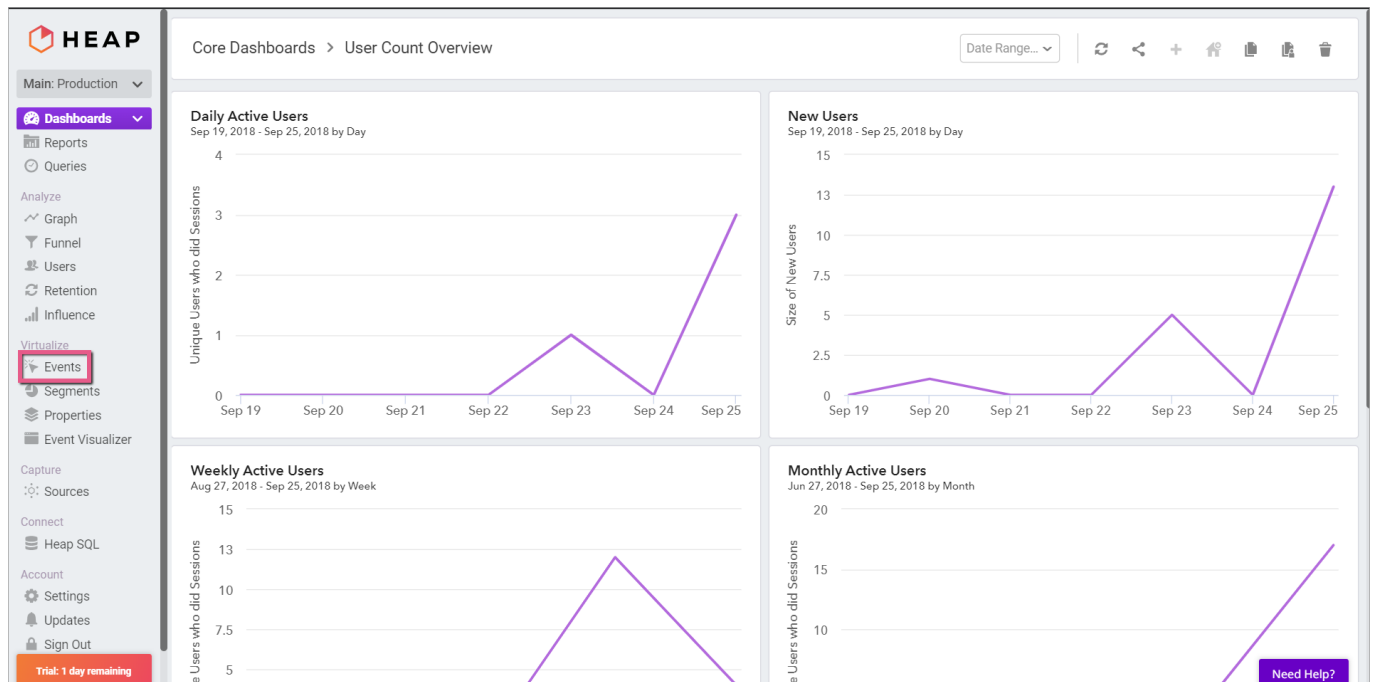
Tested Successfully!

SAVE

ヒント□ サクセスメッセージがが表示されない場合は、上記の手順で、すべての必須プロパティが正しく定義されているかどうかを確認します。

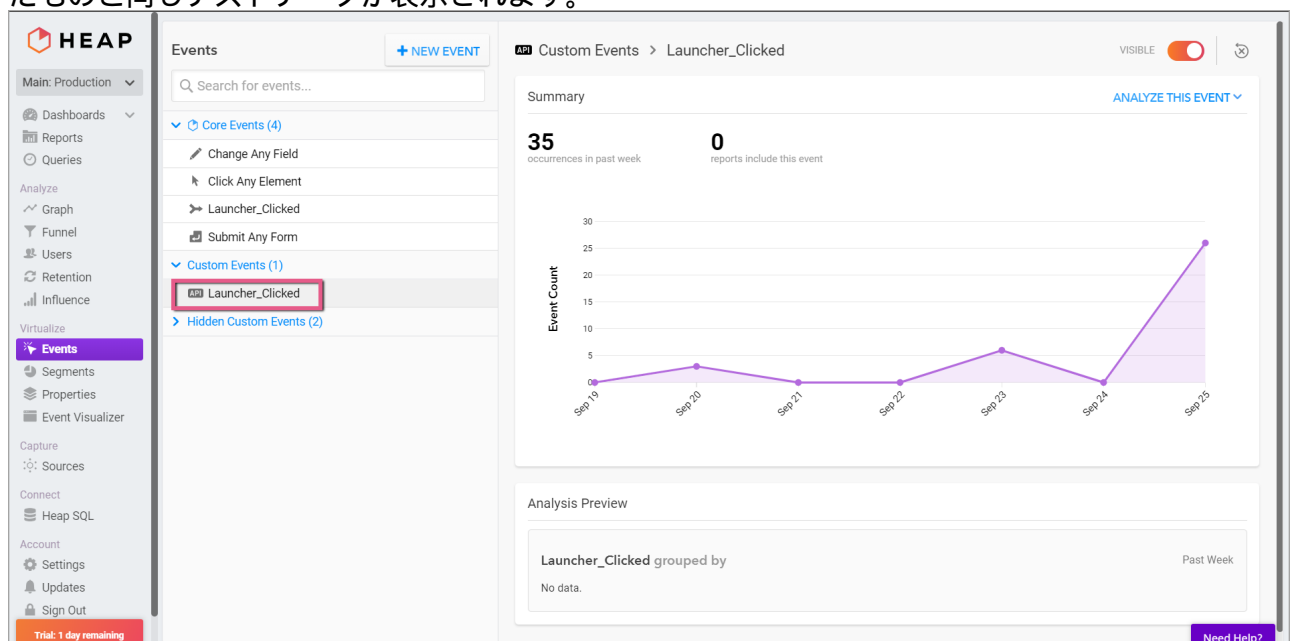
ステップ8□ WalkMeが受信したイベントをHEAPで確認する

ステップ8a□ Heapで [*Events* (イベント)] をクリックする

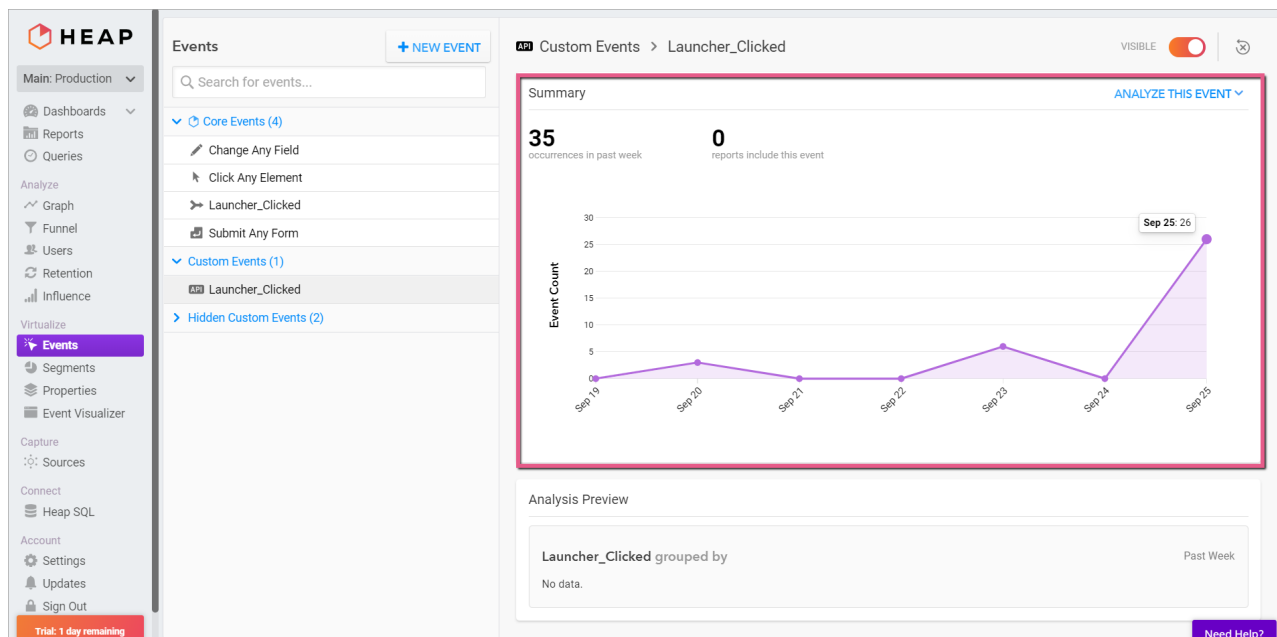


ステップ8b [Custom Events (カスタムイベント)] で関連するイベントをクリックする

- 左側のAPIアイコンがあるカスタムイベント（ここでは Launcher_Clicked をクリックします。
- Custom Events [カスタムイベント] セクションで、ウィザードで設定したイベント名をクリックします。
- 上記のステップ7の [Test (テスト)] ボタンをクリックしたときにプラットフォームに送信されたものと同じテストデータが表示されます。



- 右側のダッシュボードには、イベントのアクティビティが表示されます。



HEAPによる追跡イベントのAPIドキュメントと説明

HEAPが追跡イベントのために受信する可能性のあるBodyプロパティ

HEAPが受信する予定のプロパティ名	タイプ	必須	説明
app_id	文字列	はい	プロジェクトに対応するapp_idです。
ID	文字列	はい	エンドユーザIDです。 通常、既存のユーザーに対応するIDです。 そのようなIDが存在しない場合は、そのIDで新しいユーザーが作成されます。 大文字小文字を区別した文字列で、文字数は最大255文字です。
イベント	文字列	はい	イベントの名前です。 文字数は最大1024文字です。
identity_type	文字列	いいえ	Heapに送信するIDのタイプ（メール、ユーザIDなど）を定義する大文字小文字を区別した文字列で、任意のカスタム文字列を使用できます。 提供されるとHeapはidentityの値が含まれるidentity_typeという名前のユーザープロパティを作成します。 これは、高度なマルチタイプの識別を実装している場合にのみ必要です。

プロパティ	オブジェクト	いいえ	イベントに関連付けたいキーと値のプロパティを持つオブジェクトです。キーとプロパティは、それぞれ1024文字以下の数字または文字列でなければなりません。 例： <code>"properties": { "subject": "Welcome to My App!", "variation": "A" }</code>
タイムスタンプ	文字列	いいえ	ISO8601またはunixエポックミリ秒 (例 <code>"2017-03-10T22:21:56+00:00"</code>)
idempotency_key	文字列	いいえ	イベントの重複を防ぐためにHeapのイベントIDキースペースにハッシュ化される一意のIDです。同じIdemotencyキーで後続の呼び出しを行っても、データは更新されません。

[HEAPのAPI](#)の詳細については、こちらをご覧ください。

リクエストの例

```
curl
```

```
-X POST
```

```
-H "Content-Type: application/json"
```

```
-d '{
  "app_id": "11",
  "identity": "alice@example.com",
  "event": "Send Transactional Email",
  "timestamp": "2017-03-10T22:21:56+00:00",
  "properties": {
    "subject": "Welcome to My App!",
    "variation": "A"
  }
}'
```

```
https://heapanalytics.com/api/track
```

関連リソース

- [Heapのインストール](#)
- [追跡イベント- APIドキュメント](#)